

避難路照らす蓄光材

吉田小学校 深夜の津波想定し実験

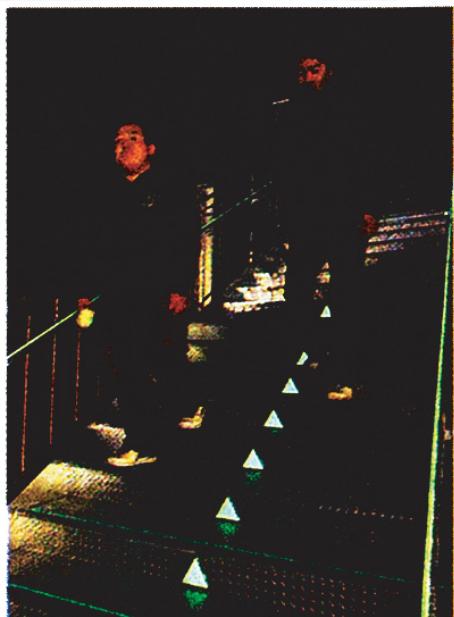
光を蓄えて発光する

「蓄光材」の有効性を確かめる公開実験が八日夜、吉田町住吉小学校であり、町民ら約五十人が参加した。

町と土木学会地震工

学委員会の主催で、深夜の地震で停電し、津波も予想される」と想定。同校の四階から屋上に通じる津波避難階

段の手すりや滑り止めの部分などに、テープ状の蓄光材を貼つて明るさを確認した。



蓄光材の明るさを確認する参考
加者=吉田町住吉小学校で

蓄光材が全く無い場合、階段の滑り止めに手すりや滑り止めに貼り付けた場合の三パターンで実験。参加者の先頭から最後尾が階段を上るまでの時間を計測し、一人一人にアンケートを実施した。

蓄光材が無い場合、参加者は足元を確かめながら上ったが、すべ

て光っている時は、駆け足の人も。「思ったより明るい」「子どもや高齢者でも安全に上がり方ない」との声もある」との感想が出ていた。「ここだけ蓄光材があつても、家から道中が明るくなれば仕方ない」との声もあつた。(伊藤一樹)